

## フランスにおけるスキーウェア・スキー用品市場

### 1. フランスは欧州最大のウィンタースポーツ用品市場

調査会社 NPD GROUP の 2014 年 2 月 28 日付け発表<sup>1</sup>によれば、米国とフランスはスキー場のパスの年間売上が多い上位 2 カ国である。2013 年のフランスにおけるウィンタースポーツ用品市場は欧州では首位の 7 億 2,000 万ユーロであり、これはドイツ、オーストリア、スイスを上回っている。

### 2. フランス人は価格と質のバランスがよい商品を低コストで購入

同発表によると、フランス人はウィンタースポーツ用品を低コストで揃える傾向がある。フランスにおけるスキーウェアの平均価格は 89 ユーロであり、ドイツにおける平均価格より 25%、イタリアにおける平均価格より 40%安い。スキー用グローブについても同様に、フランスにおける平均価格は 21 ユーロで、この価格はドイツの平均価格を 30%、イタリアの平均価格を 20%下回る。

同社によれば、スキー用品を購入する際に「価格と質のバランスがよい」商品を探すというフランス人の基準は、スペインでも同様にみられる。イギリス人は「デザイン」を、ドイツ人とイタリア人は「質」を「価格と質のバランス」と同程度重視する。

フランスで 4 人家族がハイシーズンにスキー旅行をする際の平均予算は 3,500 ユーロにものぼり、うちアパート賃貸費とスキー場のパス代が 4 分の 3 を占める。フランスではスキーは高コストのレジャーであり続けており、スキーウェアの売上額の 30%以上が上位の社会職務階層 (socio-professionnelles supérieures) によってもたらされたものだという。

### 3. 2013 年、フランスではアルペンスキー用品とヘルメットの売上が好調

NPD GROUP によれば、フランスではアルペンスキー市場が 4 億 9,000 万ユーロと最大で、その他にある程度の市場規模を持つのはスノーボード (1 億 3,600 万ユーロ、ウィンタースポーツ市場全体の約 2 割) だが 2000 年代末から縮小傾向にある。

2013 年 10~12 月にかけて<sup>2</sup>ウィンタースポーツ用品の売上額は 13%増となり、商品別に売上が多かった順は以下の表のとおり。2014 年のシーズンの初頭にはアルペンスキー用品 (スキー用アノラック、スキー用靴下、スキー板、ストック、スキー用ヘルメット) の売上額が 10%も伸びた一方で、スノーボードの板とスノーブーツは 2013 年と比べ 10%減となった。

<sup>1</sup><https://www.npdgroup.fr/wps/portal/npd/fr/actu/communiqués-de-presse/sports-dhiver-un-marche-clef-pour-lhexagone-des-conditions-privilégiées-pour-les-français/>

<sup>2</sup>統計では通常、前年同期と比較する (例: 2012 年の第 3 四半期 100%とし、2013 年の第 3 四半期が何%とかをみる) ことが多いが、この調査では 10 月を 100%として 12 月に何%かを示していると思われる。

2013年にはヘルメットの上に固定して滑走時に動画の撮影ができるカメラ (caméra embarquée) が流行し、記録的な売上となった。また、ゴーグルがサングラスよりも人気で復活し、2013年10月から12月に売上が27%増となった。

ヘルメット (子供用含む) は2013年10月から (12月にかけて) 売上が12%増となった。元F1世界王者のミハエル・シューマッハのスキー中の事故<sup>3</sup>が発生する以前の数年前から、スキー学校ではヘルメット着用が義務付けられており、これにより市場が拡大してきた。フランスにおけるヘルメット市場は1,500万ユーロの市場で、調査実施時にゲレンデでヘルメットを着用しているスキーヤーは3分の1以下だが、全てのスキーヤーが着用するようになるまで伸び続けるであろうと、NPD GROUPは分析する。

表：ウィンタースポーツ売場で売上が上位の商品 (2013年10～12月)

順位	商品名 (日本語)	商品名 (仏語)	直近の四半期の成長率 <sup>4</sup>
1	ブルゾン (ジャンパー) / アノラック (ヤッケ)	BLOUSONS / ANORAKS	21%増
2	長ズボン	PANTALONS LONG	5%増
3	スウェット (トレーナー) - パーカー	SWEATSHIRTS - VESTES ZIPPEES	2%増
4	スキー用ズボン	CHAUSSURES DE SKI	28%増
5	手袋	GANTS	18%増
6	スキー板	SKIS PARABOLIQUES	58%増
7	靴下とタイツ	CHAUSSETTES ET COLLANTS	4%増
8	アフター・スキー・ウェア	APRES SKI	19%増
9	下着 (上半身用)	SOUS VETEMENTS HAUTS	1%増
10	ヘルメット	CASQUES	12%増
11	ハイキングシューズ	CHAUSSURES DE RANDONNEE	2%増
12	リュック	SACS A DOS	14%増
13	ゴーグル	MASQUES	27%増

出所：調査会社 NPD GROUP の 2014 年 2 月 28 日付け発表

#### 4. フランスのスキーウェア (レディース) のトレンド

パリ在住のジェトロ・パリの海外コーディネーター (アパレル・テキスタイル分野) によれば、以

<sup>3</sup>2013年12月末

<sup>4</sup>統計では通常、前年同期と比較する (例：2012年の第3四半期100%とし、2013年の第3四半期が何%とかをみる) ことが多いが、この調査では10月を100%として12月に何%かを示していると思われる。

下のとおり。

(1) 色味は「カラフル」か「ナチュラル」

2013年以降、色味のトレンドは以下のとおり二極化しており、正反対である。

カラーブロック	ブルー、グリーン、紫、赤、イエローなどのカラフルなカラーの単色無地の組み合わせ使い。
ナチュラルカラー	ストリートウエアからの影響。グレー、ネイビー、ボルドー、オークル、ブラウン、カーキなど。ナチュラルやシックな色味。

(2) 無地か、エスニック・レオパード柄

無地または複数カラーの無地の切替えが多く、プリント柄が少なくなった。但し、ストリートウエアで人気のエスニック柄（アメリカインディアン、ナバジョスタイル）とレオパードなどアニマルプリントがスキーウエアでも見られる。

(3) 多様なシルエット

パーカー型アノラックは丈が長くて細見でフェミニン。中には太ももの中間まで届く長さのパーカーもある。スリムパンツと合わせる。ストリートウエアの影響で細部にも凝っている（レザー、ドット、ジッパー使いなど）。特にスノーボードファッションはシルエットが細見。スノーボードからはバギーパンツが無くなったのに引き換え、アルペンスキーのパーカー型アノラックの中にはXXLのオーバーサイズの愛好者がいる。いずれも、アノラックとパンツが一体になったコンビネゾンより、パーカー形アノラックとパンツの組み合わせが圧倒的に多い。パンツに胸当てとサスペンダーがついたサロペットもファッションとして復活している。

#### 4. フランスのスキーウエア（メンズ）のトレンド

ジェトロ・パリのコーディネーターによれば、以下のとおり。スキーウエアは毎年買い替えないため、同じトレンドが数年続く場合がある。特徴が強いプリント柄は一過性で終わる恐れがあるため、プリント柄はほとんどなく、ブルゾンもパンツも無難な無地使いが多い。不況も影響しているかもしれない。

(1) 色味は「カラフル」か「ブラック」

カラーブロック	カラフルなカラーの無地使いだがブルゾン/パンタロンやキャップでコントラストカラーを使って遊ぶ。例えばグリーン/オレンジ、ブルー/蛍光オレンジ、グリーン/レッド、オレンジ/インディゴブルー、レッド/ブルー、オリーブグリーン/ターコイズブルーで、これらはビビットカラーや蛍光カラー同士で組み合わせる。グリーンはとて重要。
ブラック	ブラックも重要な色。ブラックのトータルルックと、ブラックとブルーのシックな組み合わせが見られる。スノーボードの若者の間ではゲリラルック風の帽子、ヘルメットからメガネまでブラックのト

	ータルルックもある。
--	------------

## (2) カムフラージュ柄、転写プリント

カムフラージュ柄	数少ないプリント柄の中で強いのが、ストリートウェアのトレンドであるミリタリーから影響を受けた、カムフラージュ柄。落ち着いた同色のブラウン/ベージュ系やグレー/ブラック系。トータルルックではなく、例えばカムフラージュのブルゾンとビビットカラーのズボンと合わせる。
転写プリント	部分使い。オールオーバーやトータルルックではない。

## (3) 素材や機能への拘り

不況下でリスクをとらないためか、無地でシンプルなデザインが多いが、素材や機能への拘りが見られる。セカンドスキンのように防水でありながら呼吸が出来るテクニク素材、通風システム、防水の縫い目、雪よけカバー、携帯・キー・メガネ用のマルチポケット（内側と外側）、スキーパス（フランスでは左手首に付ける）を入れるポケットなど。

## 5. フランスにおけるスキーウェアの販売先

ジェトロ・パリのコーディネーターによると、以下のとおり。

- ・ブランドの直営店
- ・ネットショップ
- ・大型スポーツショップ（チェーンストア）：例 Decathlon<sup>5</sup>、Go Sport<sup>6</sup>、Au Vieux Campeur<sup>7</sup>
- ・個人経営のスポーツショップ

以上

**【免責条項】**本レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用下さい。ジェトロでは、できるだけ正確な情報の提供を心掛けておりますが、万一、ご提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、ジェトロでは一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。

<sup>5</sup><http://www.decathlon.com/>

<sup>6</sup><http://www.go-sport.com/>

<sup>7</sup><http://www.auvieuxcampeur.fr/>